十七日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行人兼印刷人　岡田弘盛
印刷所　福島縣石城郡平町字紺屋町十四
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
△日刊（毎、祭日）休刊

政府で買上げるため 磐城米の値上る

忽ちのうちに五十高を示す 結局政府賣りは少なからう

政府では農村に於ける米價暴落防止の方策として百五十萬石の地方米を買上げる筈でその第一回は主として關東北地方に亘り本月十七日から來月十日迄の間に行はれる事となりその價格は磐城米で東京及び横濱渡し四斗俵一等米十三圓五十六錢、二等米十三圓三十二錢、三等米十三圓八錢、仙臺渡し各等二十錢安と決定した。政府の買上げ價格決定と同時に先月までは十一圓臺であつた玄米が昨今四等米で十二圓五十錢の高値を見るに至つたため農家としては態々東京横濱或ひは仙臺等に進んで賣つても運賃を差引けば結局平地方で賣る値段と何等異なる處がないわけで、而も十七日から來月十日頃の間に磐城米の出廻る事は少々早過ぎるから磐城地方農民は政府買上げに應ずる者は極めて少ないであらうと察せらるる然し乍ら十一圓臺であつた玄米が俄かに十二圓五十錢に暴騰したのは政府の買上げの價格決定によるもので農民のため幸福を齎した事は明らかである。

▲平青年幹部會　平町青年團幹部會は十五日午後六時から磐城銀行に開き左の諸件を協議した。

▲秋期總會開催の件▲町民体育大會開催の件、その他

青沼氏 社會から惜まる

◎…過去の閲歴

磐城炭礦會社事務部長青沼鋒太郎氏が去る九日家事上の都合で同社を退職した事は既報の如くであるが、會社としては青沼氏の如き人材を失つた事は將來共非常な損失であらうと一般社會の人々は語つてゐる、因に同氏は慶應三年十一月三日平藩藩に生れ明治二十一年十月五日裁判所書記試驗に合格爾後若松、平兩檢事局書記を拜命し同二十七年十月五日福島監獄課長に榮進同三十年十一月長野縣警部拜命三十四年岩手縣警部課長に榮轉し越ねて三十六年一月盛岡警察署長となり三十八年岩手縣和賀郡長に進み四十一年東白川、四十三年耶麻郡、大正二年石城郡大正七年伊達郡各郡長歴任、大七年十一月内郷村磐城炭礦庶務課長となり十三年經理課長から事務部長となり今日までその間九ケ年間一意專心會社のため盡力したが今回家事上の都合で退職する事になつたのであると。

公設質屋の設置は 先づ困難であらう

伏見平町長談

平町に於ける普通商工業者一般に對する施設機關は相當に完備されてゐるが之れを下級社會經濟方面に注目すれば未だ完全と言はれず下層民の融資機關として悲壯なる手段を講ずる場合の質屋機關の如き個人質屋の營業者は不便を感ぜしめざる程度にあるが低利に尚且簡便に之れを取扱ふ公設質屋の施設なき爲め苦痛を訴へてゐる向きもあり之れが設置の必要を高唱してゐるものがあるので伏見平町長の意響をたゞすと

個人質屋營業者と異なり公設質屋を設置すれば利子も安くて其の他にも利用者に對する便宜な方法が種々あるから公設質屋の設置も考へなくてはならない、然し取扱ひ物件に對する鑑識係其他職業紹介所等は異なり現金の取扱も間斷なくせねばならぬので其の確實なる事務の遂行にも懸念されると共に其財源たる幾分の補助はあるかも知れないが豫算を捻出する事も容易でない場合であるから先づ其設立は不可能な問題でせう、然し豫算あり係に適材ありとすれば一般金融界を圓滑ならしむる資にもなるのであるから是非やつて見たいと思ふ。云々」

▲農産繭品評會　磐崎村農會並に養蠶同業組合聯合主催磐崎、渡邊、泉三村聯合農産物並に繭品評會は二十三日から二十四日兩日磐崎村小學校に催ほす筈で、郡農會から大山技師出張審査を行ひ二十三日褒賞授與式を行ふと。

▲安島所長歸平　平穀物檢査長安島重三郎氏は去る十三日若松市に開かれた本縣標準米査定會に出席のため出張中の處十六日午後五時歸平した。

泥棒して 酌婦遊び

新潟縣西蒲原郡曽根村大字善光寺生れ當時住所不定窃盗前科一犯赤川孫八（二四）は本年七月中から内郷村大字宮方面に出沒し十月二十八日大字宮字平太郎磐城炭礦長屋阿部岩次郎方座敷から高貴男羽織、袷、兵兒帶等七十五圓の外銀側時計を窃取しその總給數回に亘つて窃盗を働らき數百圓の賍品は大字宮の料理店福美屋　酌婦を相手に遊興してゐた處を十六日平署刑事捕はる。

土藏破りの大賊 夏井村で捕はる

刑事サイドカーで追跡 雇人に化けて農家に住込む

伊達郡伏黒村大字小幡高野生れ當時住所不定無職窃盗前科六犯鈴木鼎（三六）は窃盗で懲役三年刑務所を出獄したが本年三月十日夜高久村大字下高久字原酒造業箱崎淺吉方の土藏に忍び入り衣類二十三点價格二百余圓を窃取し賍品は福島方面　賣り捌き遊里の巷で豪遊した外信夫郡伊達郡方面で十數件に亘り窃盗をなし最近夏井村大字菅波關根庄治方に雇人に化けてゐる事を知つた平署では十六日午後青田刑事部長以下オートバイで夏井村に急行前記關根方で逮捕し目下余罪取調中である。

錦海岸で 大猿を捕ふ

錦村海岸で去る十四日朝同村獵師鷲某が体重十貫余の大猿を射止めたが、去る六日勿來町附近に姿を見せて大騒ぎをさせた猿を巡業中の動物園からでも逃げて來たものらしい

通學の途 軌道に轢かる

磐崎村大字上湯長谷字梅ケ平太工仙次郎長女大井川きくえ（九ツ）は十六日午前六時四十分小磐城炭礦小野田坑專用軌道線路を通行中湯本行一番軌道車に觸れ跳ね飛ばされ左側大腿部を骨折前額部にも負傷人事不省に陥る

郷土の誇り……平町 本田君の 帝展の「夜蔭」偶感

（上）　東京にて　永山勇吉

例によつて例の如く、また帝展を見に行つた。昔は校で教鞭をとられた島田墨仙先生の「逍遥」と、同窓大森義男君の「少女と花」が堂々と飾られてゐる。知らぬ他國で戀人に遇つた時のような、嬉しさがこみ上げて來て、しばし壽前を去りがたかつた。ところが今度は彫刻室では、舊友本田朝忠君の力作「夜蔭」が亦一段と光つてゐた。彫刻といふやつは、いつも同じようにに女の裸体に決つてゐるので、私にはどうもたいした興味も湧かず從つてまた、いくら見ても解らない。今度も慨してそれが多い。まづペンチに腰を下して、一プクやつてゐると、うしろの方でたいへん人だかりがしてゐる。ヒョッと起つて近いて見ると、なるほど、是れはまた、女の裸体には相違ないが、なみたいての代物ではない。頭には二本の角を生やし、眼は妖怪のそれのように、大きな厚い唇を裂つて、二本のキバ、髪振り亂し、妖雲に乘じて天の一方を指さしてゐる。宛ら四谷怪談お岩様の再來だ。見てゐるうちにも凄氣が心邊に迫つて來る。正に第八回帝室美術展彫刻部の異彩である。人だかりの中の一人が、その剣伴者らしい人に説明してゐる。それによると「今年の彫刻中、思想的に最も深刻味のある作品として、蓋しこの夜蔭に及ぶものはあるまい」と。私もなるほどと思つて神妙にそれ等の説明を傾聴しながら半時ほども突立つてゐた。そのうちにこの道の通人らしい一人が、また説明を初めた「この作者は明に學校もやらず、然もこれが初めての出品で、まことに當代には珍らしい天才ですよ」その時初めて私も、その作者の何人なるやを見た。これぞ誰なん、わが石城の生める本田朝忠氏その人であつたのだ。生命危篤である。

長途騎乘 櫛田氏の通信

（第十七信）　櫛田彦之進

◎神戸村にて

▲十四日晴　午前七時三十分加古川町出發、婚禮祝の謠の出所、尾の上根、尾の上の松、高砂村、高砂松を見午前十時半曽根村に至り曽根神社の曽根の松を見十二時半姫路市に着く、聯隊區司令部、師團司令部、憲兵隊、市役所を訪問し姫路城に至り天主閣に登る菊の井戸あり、午後三時三十分姫路出發午後六時三十分揖保郡、神部村に宿泊す、行程三十九日四百三十七里（十四日午後十一時）

▲無事岡山に着く（十六日午後三時四八分着電）

寢小便の妙藥。瘠せる藥　平町五丁目　山野邊藥局

寒サノ御用意ニ
毛シャツ（二円五〇位ヨリ　一三円五〇位迄）
都卷純毛（一円四〇位ヨリ　四・五円位マデ）
ネルワイシャツ（一円二〇位ヨリ　七・八円位マデ）
其他豊富ニ店内ヘ陳列シマシタ
平町四丁目
ツルヤ商店
電話百四十番

簡易の金融　誠意と堅實　趣味の貯蓄　共存共榮
大免　綾　大臣許
磐城無盡商會
本社植田町・支社平町中町
【電話一番・平六七九番】
縣内到る處に取扱所あり何時でも申込下さい絶えず會員を募ります

揃ひました
いろ〳〵な冬の洋服が値段は二割乃至一割安
立襟上下十圓位より
脊廣三組十三圓五十錢位
オーバー六・七圓位より
其他變ったいろ〳〵な冬の洋服が澤山揃ひました
やなか洋服店
平町二丁目
電話二〇三番

印刷物は加納活版所

洋生特製品
◎ヒュクリーム
◎アップルパイ
◎ドーナツ
◎スイートポテト
外永野の特製パン
其他各種
御用命次第早速御届け申上ます
永野キャンデーストアー
平町二丁目（電話七五五番）

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店　西村屋藥舗
平町二丁目
電話三番

見よ此壯擧を……十七日替り
市川右太南門映畫　慕末大劍爭秘史　▲原作脚色赤月與三郎　▲監督大伴麟三
血　前後篇十四卷の内前篇七卷
片岡童十郎、高堂國典、稲葉操子、五味國枝助演
▲慶岡信夫映畫　學生快活ロマンス　NK日活映畫　原作小林正　監督阿部豊　早稲田OB現選手應援
雪辱の日　全八卷
砂田駒子、根岸東一郎、川上彌生、島耕二助演
▲大河内傳次郎映畫　半九郎捕物帳　原作脚色西池春之介　監督清瀬英次郎
劍　全八卷
澤村春子、小松みどり、葛木香一、粂讓助演
本週より映寫時間高級を早く致しました　常設　平館　電四六六

最新滋强回春劑
ヒーナス　定價（三圓五圓　拾圓　廿圓）
◎適應症（腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能　陰萎遺精、体力增進、新陳代謝等）
平町專賣所　平町五丁目角　山野邊藥局

牛肉大投げ賣り
並肉　百匁　金三十錢
上肉　同　金五十錢
ロース　同　金七十錢
ヒレ　同　金九十錢
平町停車場前（平劇場入口）
深谷牛肉店
電話五二四番

オートバイ賣物あり
（委細面談）
平町白銀町
高島屋洋服店
電話八〇七番

美味にして強壯の効著大
滋養第一
スポン飴
血をふやし肉を肥やす
定價壹圓・貳圓・徳用五圓
代理店
平町五丁目角
山野邊藥局

靴とかばん
◎御注文は特に勉强
◎既成品も豊富にあります
平町搔揶小路（役場前）
福山靴店

◎財界不況ニ伴ヒ値下斷行◎
十一月二日ヨリ
カツレツ　二十錢　カレイライス　二十錢
メンチカツ　二十錢　ハヤシライス　二十錢
ハヤシビフ　二十錢　ポークライス　二十錢
御酒一本二十錢
右品出前モ同値……
平町一丁目【電話六二〇番】
西洋御料理　カフエータヒラ

驚異的……靴の投げ賣
自製優良革底……靴
最上ボックス革　半編上靴　七・五〇ヨリ
同　同　九・五〇ヨリ
船來赤革　同　一〇・〇〇ヨリ
同　半編上靴　一二・〇〇ヨリ
同　キット黑・茶　半編上靴　一三・五〇ヨリ
全部自家製品ニテ一足毎ニ弊店マーク貼付
大塚支店開業以來の御買ひ時!!!
平・田町　電話七〇二番
大塚支店製靴部

買ひ好ひ店
良品ヲ安ク賣ル
ターリーズ
局藥内閣
助栄内閣師劑藥
平四電話四〇番

滋養、强壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「粟守酒」
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店　大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢　平町一丁目電六二四